

《研究課題名》

胃癌における術前診断と術後診断の比較検討

《研究対象者》

西暦 2011 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに滋賀医科大学医学部附属病院消化器外科において「胃癌（食道胃接合部癌を含む）」と診断され、根治的手術を行った患者さん

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している試料・情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（ 8 ）の問い合わせ先へご連絡ください。

（ 1 ）研究の概要について

《研究課題名》

胃癌における術前診断と術後診断の比較検討

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日（2019年 10 月 25 日）～2024 年 9 月 30 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 外科学講座 講師（学内） 貝田佐知子

（ 2 ）研究の意義、目的について

《意義》

胃癌の術前診断には様々な方法で行われます。CT 検査、上部消化管内視鏡検査、超音波内視鏡検査、エックス線二重造影検査などがあり、これらの検査を行い、手術前に診断してから手術を施行します。しかしながら現時点で手術前の診断が全て一致するわけではありません。これらの検査の診断率を術後に再度評価することにより、どのような場合に術前と術後の診断に齟齬が生じるのかを明らかにすることで、さらなる術前診断の精度向上につながる可能性が期待できます。

《目的》

現在の当院における胃癌の術前診断の精度を評価し、その問題点について検討することです。

（ 3 ）研究の方法について

《研究の内容》

当院で 2011 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに、胃癌に対し根治手術を行なった患者さんの術前検査結果、術後の臨床経過、病理組織学的所見を 2024 年 3 月 31 日まで収集し、術前と術後の検査所見の一致率を評価します。

オプアウト

《利用する試料・情報の項目》

術前のCT検査、上部消化管内視鏡検査、超音波内視鏡検査、エックス線二重造影検査所見、採血、生検結果、術後病理組織学的検査所見、診療録

《試料・情報の管理について責任を有する者》

所属 外科学講座 貝田佐知子

(4) 個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして、ご提供いただいた試料・情報が誰のものか分からない状態にして使用します。ただし、必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の試料・情報を結び付けることができる対応表を作成いたしますが、この対応表は施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、2023年8月31日までに下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 外科学講座 貝田佐知子

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2238

メールアドレス：hqsurge1@belle.shiga-med.ac.jp

西暦 2019年9月10日